

ジェームズ・ウェッブ  
宇宙望遠鏡のイメージ  
(NASA提供)



ジェームズ・ウェッブ  
宇宙望遠鏡のイメージ  
(NASA提供)

【ワシントン共同】米航空宇宙局（NASA）などは25日、史上最大の宇宙望遠鏡「ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡」を南米ブラジル領ギアナのクールー宇宙基地からアリアン5ロケットで打ち上げた。約30分後に望遠鏡は予定通り切り離され、打ち上げは成功した。生命が存在する「第2の地球」や、135億年前にできた最初の銀河などの観測が期待されている。技術的問題などから打ち上げ延期を繰り返し、開発費は1兆円を超えた。

1990年打ち上げのハッブル宇宙望遠鏡の後継で、最大10年間の稼働を見込む。感度も高く、NASAのジョン・マザー博士は「月にいるハチが検出できるほど」と話す。

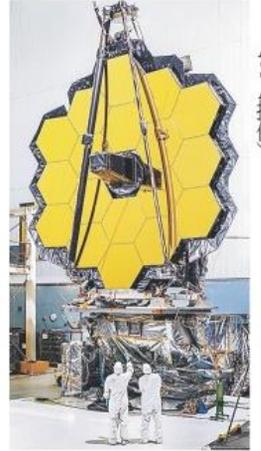
光の分析で遠くの物体の成分を調べられる機器も備えている。約40光年先には液体の水が存在するとみられる地球ほどの大きさの岩石惑星があり、この大気を調べて生命が存在できるかどうか探る計画もある。

東京都大の津村耕司准教授（赤外線天文学）らは新しい望遠鏡で飛び交う赤外線を観測し宇宙にどれだけの星が生まれてきたかを明らかにしようとしている。

## 「第2の地球」観測に期待

### 史上最大の宇宙望遠鏡

### NASA 打ち上げ成功



ジェームズ・ウェッブ宇宙望遠鏡の主鏡  
12017年ごろ、米メリーランド州(NASA提供)

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

- ①米航空宇宙局（NASA）などが打ち上げに成功した、史上最大の宇宙望遠鏡の名前を書きましょう。

宇宙望遠鏡

- ②宇宙望遠鏡を打ち上げた場所とロケットの名前を書いてみましょう。

場所

ロケット名

- ③新しい宇宙望遠鏡でどんな観測が期待されていますか。

- ④これまで活躍してきた宇宙望遠鏡は何と呼ばれていますか。

宇宙望遠鏡

- ⑤後継の宇宙望遠鏡の感度をNASAのジョン・マザー博士は何と例えていますか。

- ⑥新しい宇宙望遠鏡でどのような実験の計画がありますか。  
また、記事以外でも調べてみましょう。